

掛川市教育委員会定例会会議事録

教育委員会事務局

会議の名称	平成25年2月掛川市教育委員会定例会		
場 所	大須賀中央公民館 会議室		
開催日時	平成25年2月25日(月)	午後1時30分から午後3時まで	
次回開催日	平成25年3月27日(水)		
出席者	委員長 委員長職務代理者 教育委員 教育委員 教育長 教育次長	小野恵美子 松下一徳 平松季哲 山本和子 浅井正人 水野雅文	教育政策課長 学務課長 学校教育課長 幼児教育課長 社会教育課長 図書館長 教育政策課室長 教育政策課指導主事 教育政策課調整庶務係長

【会議次第】

- 1 開会
- 2 1月教育委員会定例会会議録の承認について
- 3 教育長の報告
- 4 協議事項
 - (1) 平成25年度掛川市の教育「人づくり構想かけがわ」について
 - (2) 小笠地区教育委員会連絡協議会の今後の在り方について
- 5 報告事項
 - (1) 通学区域の特例に関する規定の一部改正について
 - (2) 「掛川市立小・中学校処務規定の手引」、「同補足資料」及び「同各種事務取扱要領」の改正について
 - (3) 小中学校の現状報告について
 - (4) 平成24年度末離任式及び平成25年度着任式について
 - (5) 平成24年度文部科学大臣優秀教員表彰について
 - (6) 平成24年度「かけがわ教育の日」第4回実行委員会及び第3回協力団体協議会の報告について
 - (7) 平成25年度当初予算内示について
 - (8) 平成25年度組織機構について
 - (9) 行政監査の結果と措置状況報告について
- 6 その他
 - (1) 次回定例会の日程等について
- 7 閉会

【議決事項】

- 1 平成25年度掛川市の教育「人づくり構想かけがわ」について
 教育政策課指導主事
 平成25年度掛川市の教育「人づくり構想かけがわ」冊子の改訂について及び、概要版としてのリーフレット作成に向けての計画について説明した。次回定例会で決定していきたい。
 <質疑・意見>

なし

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

2 小笠地区教育委員会連絡協議会の今後の在り方について
教育長

小笠地区3市で組織される小笠地区教育委員会連絡協議会の、規約改正と役員等の細則について3市教育長会で検討した案について説明した。

〈質疑・意見〉

委員： 一度監査したことがあったですが。

委員： 以前に一度菊川だったかどこかで集まったことがあった。

事務局： だいぶ前のことですね。結局、市になってしまったので。今までは、1市5町という、町の人たちは研究したり交流したりする機会が少なかったから昔は必要だった。

審議の結果、本議案は原案どおり承認された。

【報告事項】

1 通学区域の特例に関する規定の一部改正について

学校教育課長

掛川市立小中学校の特別支援学級開設・休級に伴い、通学区域の特例に関する規定の一部改正をすることについて報告した。

2 「掛川市立小・中学校処務規定の手引」、「同補足資料」及び「同各種事務取扱要領」の改正について

学校教育課長

上位法の改正等により、掛川市立小・中学校処務規定の手引、補足資料、各種事務取扱要領を一部改正することについて報告した。

3 小中学校の現状報告について

学校教育課長

当該案件について報告した。

4 平成24年度末離任式及び平成25年度着任式について

学校教育課長

離任式及び着任式の日程について報告及び出席の依頼をした。

5 平成24年度文部科学大臣優秀教員表彰について

幼児教育課長

当該案件について報告した。

6 平成24年度「かけがわ教育の日」第4回実行委員会及び第3回協力団体協議会の報告について
教育政策課指導主事

今年度の実施内容や、来年度のテーマとして「かけがわお茶の間宣言」の策定を形にしていくなど、会議で検討した内容について報告した。

委員： 一番大切なことですね。

委員： 実行委員会を作ってやるのですか。

事務局： 協力団体協議会という基があるのでそれを母体にして、その中から選ばれている実行委員がいるので、それに学識者・言葉を選べる人を加えて、予算をとっていないし市民運動のひとつなので自前でやったらどうかと思う。

委員： すばらしいことだと思うので上の方だけで固めないで、親に落とすとなったとき、やっぱり各校のPTA役員を加えてもらって策定し、それをPTAに下ろしてもらおう。せっかくやるので、それをいかに親に落として親学的なことでもやってもらうかとなると、そういった組織を作っても良いのではないかと思う。

たぶんPTAの皆さんもやりたいと思う。一番近いのはPTAの役員だったりPTA活動だと思う。

せっかく学園化構想も進んでいくので、各学校に投げかけても良いのかなと思う。教育の日だけでなくそういった何かを作っても良いのではないかと提案したい。

事務局： 学園化構想の中に、PTAがどう入り込むかということがあまり明確でなかった。西中学区では、保幼小中のPTAの皆さんが一緒になってひとつのエネルギーを作り出している。そういう運動に繋げていく。

発信力が問われるのでどんどん言っていけない。「お茶の間宣言ってなんだ。」と言ってくれることが良いので、いろんな場所で話題にしていきたい。

委員： PTAがいちばん横のつながりとか、それぞれの地域の家庭の事情も分かっていると思う。

こういったものを素直に取り入れる家庭は良いと思うが、なかなか取り入れないとか興味が無い親は、また子ども親との関わりの少ない家庭はどうしても格差が付いてしまう。

そういう家庭をどうやって引き上げていくかということが、こういう形でやると家庭の環境によって子どもの成長が変わってくると思う。落ちこぼれの無いような家庭にどうやってするかということが大事だと思う。

事務局： 世界一短いメッセージも、我が家のお茶の間物語というような内容で募集するか考えている。出来るだけ大勢の人に、我が家ではどうするかを考えてもらうことが大事である。是非そうなれば良いなと思います。

委員： 世界一短いメッセージとか作文は、全校の児童生徒に書いてもらうようにしているのですか。

事務局： 多くの学校がそうしています。

委員： そういったものが集まれば、家庭の状況が見えてくるのではないか。

事務局： 今年の感想の中に、1冊にまとめて配布してほしい、カレンダーにしてほしいというのがありぜひやりたい。希望を持っている。でもすごくお金がかかる。

委員： スポンサーを付ければ良い。1冊にまとめるより毎日目に付くようなカレンダーが良いのではないか。

委員： 掛川には報徳というすばらしい教えがあって、もう少しかみ砕いて子どもさん達に浸透できるようなものがあってもいいのではないか。金次郎さんの像を見ながら何か思い出せたりとか。

子どもたちは金次郎さんの本が学校に1冊行ってますよね。あと、商工会議所から「心のスイッチ」という本も出ていたりするので、作成に関わった方々がこういうものの中に入ってもらうと良いですね。

事務局： そうすると10条では入らなくなる。1年目はお茶の間宣言、2年目は報徳とか、
良いかもしれませんね。

委員： 教育の基本はお茶の間だからすごく良いのではないか。

7 平成25年度当初予算内示について

各課長

当初予算の内示額と主な事業について報告した。

8 平成25年度組織機構について

教育次長

当該案件について報告した。

9 行政監査の結果と措置状況報告について

各課長

当該案件について報告した。